

2～3分の自己紹介

パネルディスカッション

Vol.01 Feb/09/2015
Yasunobu Kawaguchi
Agile Coach, Rakuten Inc.
<http://www.rakuten.co.jp/>

川口恭伸

楽天株式会社

> whoami

Yasunobu Kawaguchi

Agile Coach



> whoami — history

小学校～高校



ゲーム、パソコン、株と出会う

大学



経済学部、旅行会社でのバイト、NIFTY-Serve
Netscape、Mac など、社会の仕組みを学ぶ

大学院



情報科学研究科で自然言語処理などの端っこをかじる

情報部門



データ制作の部門で人間作業の支援をするものづくり

次世代事業企画



新規ビジネス開発で動画制作とPDA向けアプリ、Webサイト開発

開発部門



プロダクト企画開発 (JavaScript, DHTML, ActiveX)

新規事業開発



新規サービス企画開発 (Webサービスとパーソナライズされた紙資料生成)

開発部門



インフラ担当 (デプロイ自動化、企画からローンチまでのプロセス安定)

開発部門



データ制作部門向け支援アプリをスクラムで開発

コンサル



スクラムのカンファレンスとトレーニング、コンサルを提供

開発支援



アジャイルの普及導入支援、新人研修、
楽天テクノロジーカンファレンス

> company

会社名	楽天株式会社 Rakuten, Inc.
本社所在地	〒140-0002 東京都品川区東品川4-12-3 品川シーサイド楽天タワー
代表者	代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史
設立	1997年2月7日
楽天市場開設	1997年5月1日
株式店頭上場	2000年4月19日
資本金	109,530百万円 (2013年12月31日現在)
従業員数	単体: 3,762 名 連結: 10,867 名 (2013年12月31日現在) ※ 使用人兼務取締役、派遣社員及びアルバイトを除く就業人員ベース

<http://corp.rakuten.co.jp/about/overview.html>

> company — philosophy

企業理念

インターネット・サービスを通じて、 人々と社会を“エンパワーメント”する

楽天グループは、インターネットを通じて、人々と社会を“エンパワーメント”することを経営の基本理念としています。ユーザーおよび取引先企業への満足度の高いサービスの提供により、多くの人々に成長の機会をもたらし、社会を変革し、豊かにしていくことに寄与していきます。これらにより、楽天グループの株主価値および企業価値の最大化を図り、真のグローバル・インターネット・サービス企業となることを目指します。

<http://corp.rakuten.co.jp/about/philosophy/>

> company — concept for success

世界一のインターネット・サービス企業へ 成功の5つのコンセプト

① 常に改善、常に前進

人間には2つのタイプしかいない。
【GET THINGS DONE】様々な手段をこらして何が何でも物事を達成する人間。
【BEST EFFORT BASIS】現状に満足し、ここまでやったからと自分自身に言い訳する人間。
一人一人が物事を達成する強い意思をもつことが重要。

② Professionalismの徹底

楽天はプロ意識を持ったビジネス集団である。
勝つために人の100倍考え、自己管理の下に成長していこうとする姿勢が必要。

③ 仮説→実行→検証→仕組化

仕事を進める上では具体的なアクション・プランを立てることが大切。

④ 顧客満足の最大化

楽天はあくまでも「サービス会社」である。
傲慢にならず、常に誇りを持って「顧客満足を高める」ことを念頭に置く。

⑤ スピード!! スピード!! スピード!!

重要なのは他社が1年かかることを1ヶ月でやり遂げるスピード。勝負はこの2~3年で分かれる。

楽^R天

常に改善、常に前進

人間には2つのタイプしかいない。

【GET THINGS DONE】様々な手段をこらして何が何でも物事を達成する人間。

【BEST EFFORT BASIS】現状に満足し、ここまでやったからと自分自身に言い訳する人間。
一人一人が物事を達成する強い意思をもつことが重要。

Professionalismの徹底

楽天はプロ意識を持ったビジネス集団である。

勝つために人の100倍考え、自己管理の下に成長していこうとする姿勢が必要。

仮説→実行→検証→仕組化

仕事を進める上では具体的なアクション・プランを立てることが大切。

顧客満足の最大化

楽天はあくまでも「サービス会社」である。

傲慢にならず、常に誇りを持って「顧客満足を高める」ことを念頭に置く。

スピード!! スピード!! スピード!!

重要なのは他社が1年かかることを1ヶ月でやり遂げるスピード。

勝負はこの2~3年で分かれる。

> development unit

“繰り返しになりますが、楽天はテクノロジーの企業です。当社の三木谷は「これからの経営者はテクノロジーとファイナンスとマーケティングに精通していなくてはならない」が持論ですが、その三木谷の部屋には創業間もない頃に自ら書いたソースコードが飾られています。その時から今に至るまで、そしてこれから先も、**自らの技術でプロダクトを開発して世の中に送り出していく**というスタンスに変わりはないでしょう。その変わらないミッションを担うために、開発部はこれからも変わり続けていきます。”

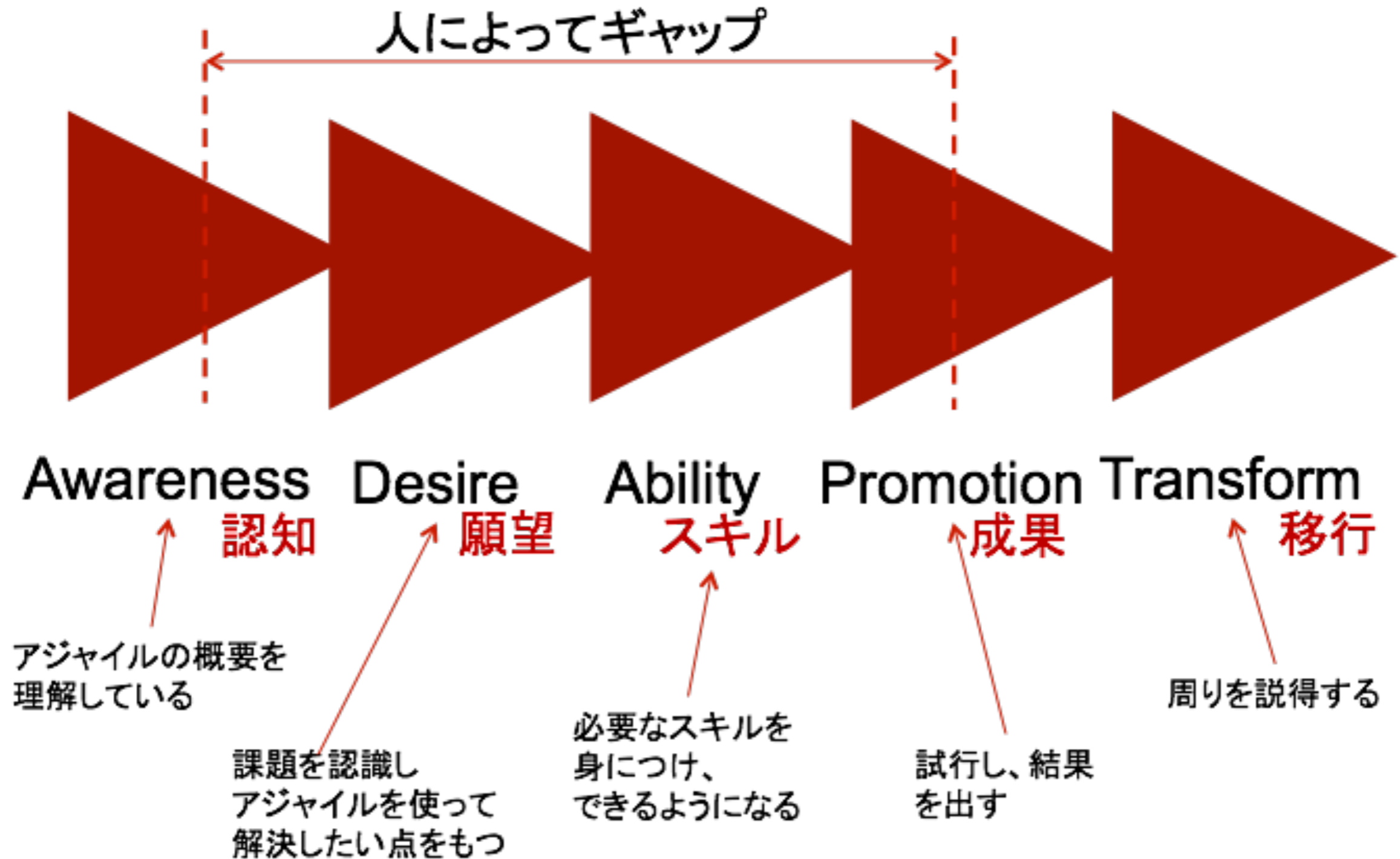
開発部トップインタビュー

**変わらない本質のために、
私たちは変わり続ける。**

取締役 常務執行役員
安武 弘晃



> ADAPT by Mike Cohn














To be an agile enterprise

～ 楽天でのふつうのアジャイル・アダプションの進め方

<http://www.slideshare.net/rakutentech/e-agility-conference2012pub>

> techtalk

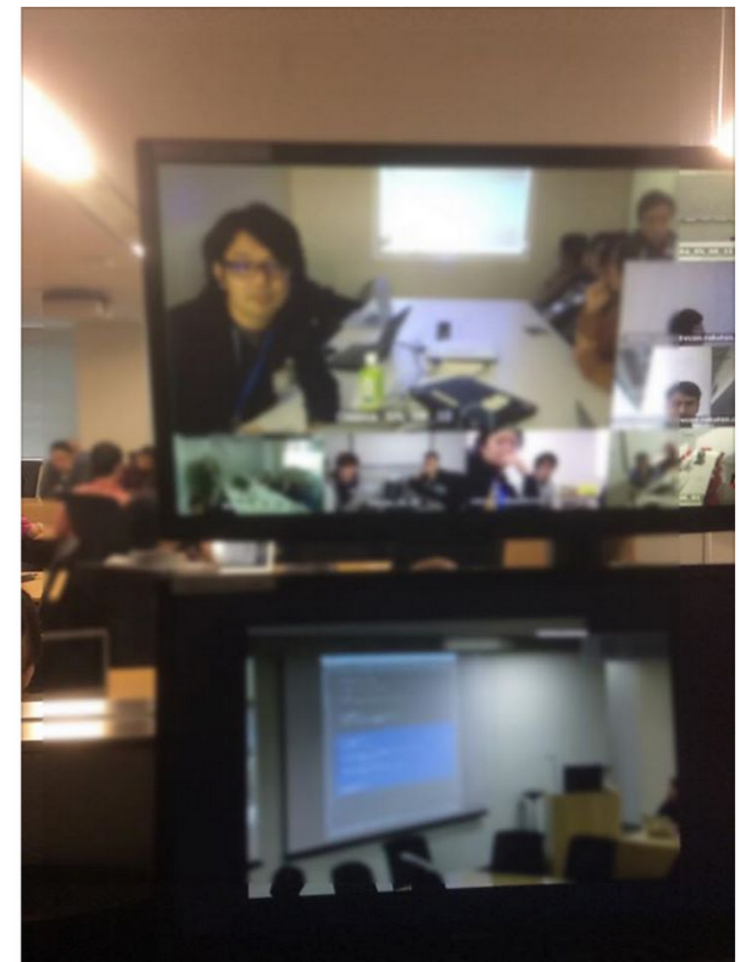
2014-01-23

 Tech Talk という社内イベントをボチボチと続けている話    
      

02:42 |  **12 users** | [編集](#)

2012年4月に今の会社に入社して、かなり最初のころに TechTalk の打ち合わせ (お昼休みに会議室に集まる) に参加したんだけど、その頃は参加者の集め方とか、誰に話してもらえば人が集まるかとか、人やリピーターを検知す

<http://d.hatena.ne.jp/wayaguchi/20140123/1390412552>



> agile_manifesto

私たちは、ソフトウェア開発の実践
あるいは実践を手助けをする活動を通じて、
よりよい開発方法を見つけだそうとしている。
この活動を通して、私たちは以下の価値に至った。

プロセスやツール よりも **個人と対話** を、
包括的なドキュメント よりも **動くソフトウェア** を、
契約交渉 よりも **顧客との協調** を、
計画に従うこと よりも **変化への対応** を、

価値とする。すなわち、左記のことからに価値があることを
認めながらも、私たちは右記のことからにより価値をおく。

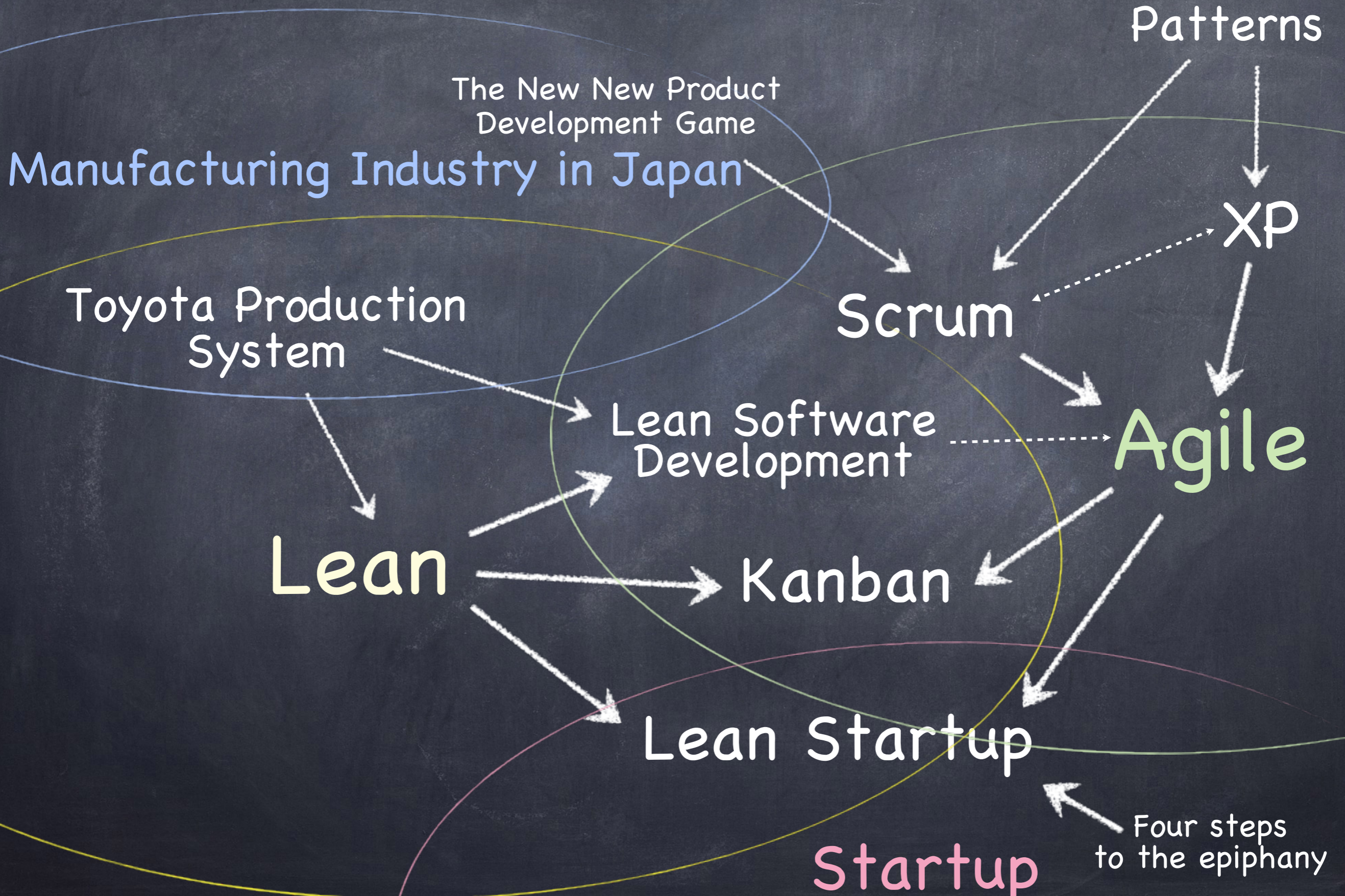
> agile_manifesto

私たちは、ソフトウェア開発の実践
あるいは実践を手助けをする活動を通じて、
よりよい開発方法を見つけた **見せる・話す・改善する**
この活動を通して、私たちは以下のように実践しています。

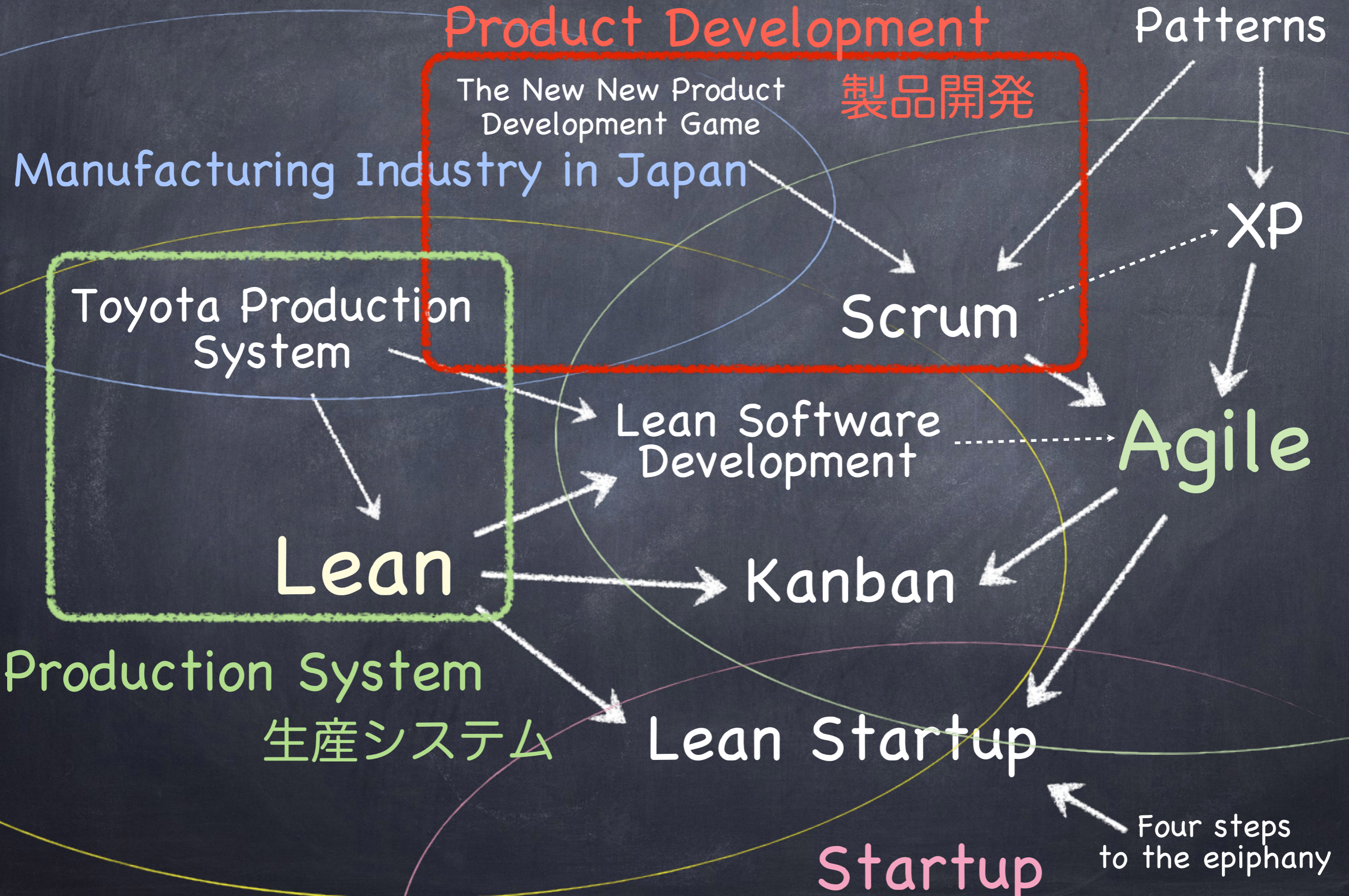
プロセスやツール	よりも	個人と対話	を、
包括的なドキュメント	よりも	動くソフトウェア	を、
契約交渉	よりも	顧客との協調	を、
計画に従うこと	よりも	変化への対応	を、

価値とする。すなわち、左記のことから価値があることを認めながらも、私たちは右記のことからにより価値をおく。

Agile and Lean



Agile and Lean



Production System

生産システム

徐々に安定していく
予測性を高めていく

需要は変化する
季節性の変化もある

学習によって徐々に
各工程の生産能力が
上がっていく

Product Development

製品開発

高い不確実性

同じものをもう一回
作ることはない

必要な技能全てを
投入して問題を
創造的に解決しなけ
ればならない

> Agile

プロセス 顧客満足 要求、仕様

ビジネス/ユーザー

Lean

UX

ATDD, BDD

チーム活動

Scrum

技術プラクティス

CI, TDD

Metrics

Delivery

テスト、品質

計測

スムーズなリリース

To be an agile enterprise

～ 楽天でのふつうのアジャイル・アダプションの進め方

<http://www.slideshare.net/rakutentech/e-agility-conference2012pub>